

■ HUT とは？

概要

このソフトはマウスボタンやキーボードに様々なキー、ボタン、機能を割当てるユーティリティです。

特徴

- ・ キーボード／マウスボタンの割当変更だけでなくマウスボタンでキー操作、キーボードでマウス操作という割当も可能
- ・ マウスのジェスチャにも機能割当可能
- ・ 様々なキー出力方法に対応。
通常のリピートの他に、押すごとにオンオフを切り替えたり、一定間隔で押したりといった出力方法が選べます。
- ・ 上下左右スクロール、ポインタ速度変更、ポインタ移動等といった特殊な機能を割り当てられます。
- ・ マウスの全ボタン(通常の 5 ボタン)に機能割当可能。
トラックボールのように特殊なボタン配置のものでも好きなように割当変更可能。
- ・ マウスのホイールのチルトに機能割当可能。(Vista 以降のみ)
- ・ モード切替機能で 1 つのキー(ボタン)に 2 種類の機能が割り当て可能。
(例) モード 1 : ホイール上下→通常の上スクロール モード 2 : ホイールの上下→左右スクロール
- ・ ホイールを素早く回転する動作にも機能割当可能。
(例) ゆっくり手前に回転→通常の下スクロール 素早く手前に回転→自動下スクロール
- ・ 任意の文字列(半角のみ)が出力可能
(例) アプリケーションの任意のメニューの実行
- ・ タスクトレイに常駐し、メニューからプロファイルの切替などが可能。

■ 動作環境

Windows 2000 / XP / Vista / 7 で動作確認しています。

■ インストール方法

- ・ アーカイブを任意のフォルダに解凍します。

Ver2.1 がある場合

同じ場所に上書き解凍して下さい。

※Ver2.1 とは互換性がありますが、"特殊機能"→"マウス"→"上/下/左/右スクロール"を使っているプロファイルがある場合

Ver2.11 の HUT_Editor でそのプロファイルを読み込み、スクロール速度を指定後上書きして下さい。

Ver2.0 以前がある場合

旧バージョンの"HUT"フォルダをフォルダごと削除してから解凍してください。

※Ver2.0 以前のプロファイルとは互換性がありません。お手数ですが再度作り直してください。

- ・ 解凍先に"HUT"というフォルダが自動的に作られます。
- ・ "HUT"フォルダ内の"HUT_List", "HUT_Editor", "HUT_Main" をダブルクリックして実行します。
必要ならこれらのファイルのショートカットをデスクトップに作ってください。

■ アンインストール方法

- ・ 解凍先に作られた"HUT" フォルダをフォルダごと削除してください。
レジストリはいじっていません。
- ・ スタートメニュー → 全てのプログラム → スタートアップ 内に"HUT"というファイルがあるならそれも削除。

■ チュートリアル

1. サンプルプロファイルを使ってみる

例としてキーボードの左 Windows キーを機能しなくするプロファイルを使ってみます。

- ① HUT_List を起動
- ② プロファイルリストの"Tutorial.hut"をシングルクリック
- ③ **実行** ボタンを押す
- ④ キーボードの左 Windows キーを押してもスタートメニューが表示されないことを確認
- ⑤ キーボードの右 Windows キーを押すと通常通りスタートメニューが表示されることを確認

2. 既存のプロファイルを変更してみる

先ほどのプロファイルを右 Windows キーも抑止するように変更を加えます。

- ① HUT_List を起動
- ② プロファイルリストの"Tutorial.hut"をシングルクリック
- ③ **編集** ボタンを押す
- ④ **追加** ボタンを押す
- ⑤ **変更** ボタンを押す
- ⑥ キーボードの右の Windows キーを押す
- ⑦ **OK** ボタンを押す
- ⑧ **使用停止** を押す
- ⑨ **OK** ボタンを押す
- ⑩ **実行** ボタンを押す
- ⑪ キーボードの左 Windows キーを押してもスタートメニューが表示されないことを確認
- ⑫ キーボードの右 Windows キーを押してもスタートメニューが表示されないことを確認

3. 新しくプロファイルを作ってみる

例としてホイールボタンに左ダブルクリックを割り当ててみます。

- ① HUT_List を起動します
- ② **新規** ボタンを押す
- ③ **追加** ボタンを押す
- ④ **変更** ボタンを押す
- ⑤ マウスのホイールボタンを押す
- ⑥ **OK** ボタンを押す
- ⑦ **特殊機能** ボタンを押す
- ⑧ 分類で"マウス"を選択
- ⑨ 機能で"ダブルクリック"を選択
- ⑩ **OK** ボタンを押す
- ⑪ メニューの File から"名前をつけて保存"を選択
- ⑫ ファイル名を適当に入力(例: Test)
- ⑬ **保存** ボタンを押す
- ⑭ **実行** ボタンを押す
- ⑮ 任意のショートカット上でホイールボタンを押すとダブルクリックとなり、そのファイルが開くことを確認。
- ⑯ タスクトレイの HUT のアイコンを右クリックし、終了を選択して HUT を終了

■ HUT_List

1. 概要 … プロファイル全体の管理をします。



2. 各部の解説

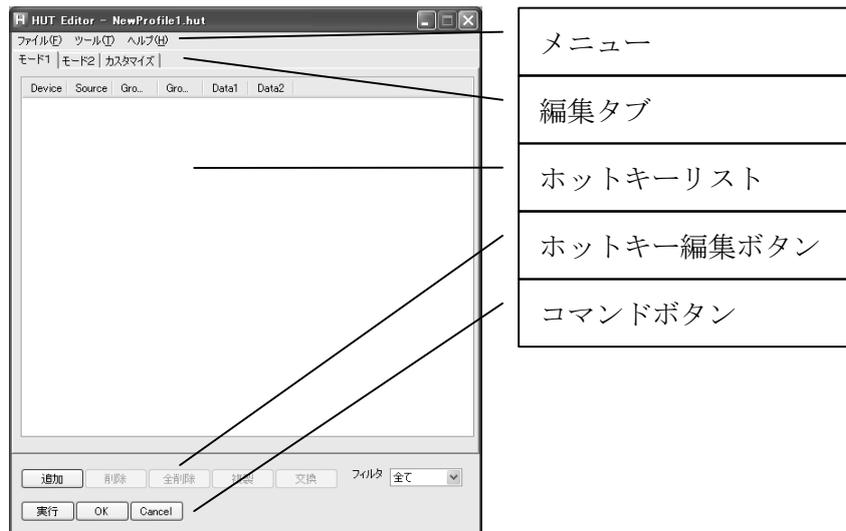
①プロフィール一覧	<p>プロフィールフォルダに入っているプロフィールの一覧を表示します。</p> <p>一覧のどれかをシングルクリックし、コマンドボタンを押すことで各種変更が出来ます。</p> <p>一覧のどれかをダブルクリックするとそのプロフィールを実行又は編集します。</p> <p>どちらになるかはオプション設定(後述)で変更できます。</p>
②プロパティ	<p>プロフィール一覧 で選択されたプロフィールのプロパティが表示されます。</p>
③メモ	<p>プロフィール一覧 で選択されたプロフィールのメモが表示されます。</p> <p>メモが空白のプロフィールの場合は何も表示されません。</p>
④プロフィールフォルダ	<p>プロフィールが保存されているフォルダが表示されます。</p> <p>HUT では全てのプロフィールをここで指定したフォルダから読み込みます。</p> <p>参照 ボタンを押すとフォルダの変更が出来ます。</p> <p>変更後プロフィール一覧の内容も更新されます。</p>
⑤初期プロフィール	<p>HUT_Main が直接起動された時に自動的に読み込まれるプロフィールを指定します。</p> <p>オプションの”自動起動”をオンにしておくと Windows 起動時に HUT_Main が自動的に起動され、このプロフィールが読み込まれます。</p> <p>よく使うプロフィールを指定しておくとう便利です。</p> <p>変更 プロフィール一覧でプロフィールを選択した後、このボタンを押すとそのプロフィールを自動実行プロフィールに指定します。</p> <p>クリア このボタンを押すと初期プロフィール無しになります。この状態で HUT_Main を直接起動した場合は、メニューの”クイックセレクト”を使って手動で読み込んでください。</p>

3. コマンドボタン

実行	一覧でプロファイルを選択後、このボタンを押すとそのプロファイルを実行します。
編集	一覧でプロファイルを選択後、このボタンを押すとそのプロファイルを編集します。
オプション	オプションウィンドウを開きます。
新規	新規にプロファイルを作成します。
複製	一覧でプロファイルを選択後、このボタンを押すとそのプロファイルのコピー指定した名前で作成します。 プロファイル名の入力画面が出るので名前を入力し OK を押してください。 既存のプロファイルを元に別のプロファイルを作成する時に便利です。
名前変更	一覧でプロファイルを選択後、このボタンを押すとそのプロファイル名を変更できます。 プロファイル名の入力画面が出るので新しい名前を入力し OK を押してください。
削除	一覧でプロファイルを選択後、このボタンを押すとそのプロファイルを削除します。
ショートカット	一覧でプロファイルを選択後、このボタンを押すと選択したプロファイルのショートカットを作成できます。 ショートカットの作成先 (デスクトップ、スタートメニュー) にチェックをつけ OK を押してください。
終了	HUT_List を終了します。

■ HUT_Editor

1. 概要 … プロファイルの編集をします。



メニュー

編集タブ

ホットキーリスト

ホットキー編集ボタン

コマンドボタン

2. メニュー

ファイル	
新規作成	新規にプロファイルを作成します。
開く	既存のプロファイルを開きます。
上書き保存	現在編集中のプロファイルを上書き保存します。
名前をつけて保存	現在編集中のプロファイルを別名で保存します。
終了	HUT_Editor を終了します。
ツール	
リスト	HUT_List を起動します。プロファイルに変更があった場合は保存するかどうかを聞かれます。
オプション	オプションウィンドウを開きます。
ヘルプ	
バージョン情報	HUT のバージョンを表示します。

3. 編集タブ

モード1	通常モード時のホットキーを編集します。
モード2	モード切替後のホットキーを編集します。
カスタマイズ	このプロファイル専用の設定をします。

4. ホットキーリスト

リストの空白の部分をダブルクリックするとホットキーを追加します。

リストのいずれかのホットキーをダブルクリックするとそのホットキーを編集します。

リストの項目名をクリックするとその項目でソートします。

Device	デバイス名 K キーボード M マウス) G ジェスチャ
Source	ソースキー/ジェスチャ
Group1	機能大分類
Group2	機能小分類
Data1	引数 1
Data2	引数 2

5. 編集ボタン

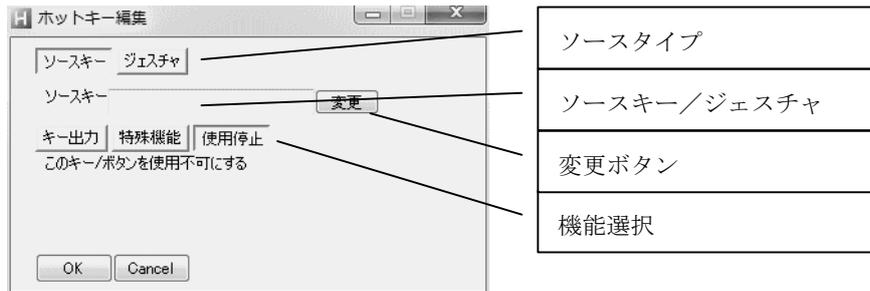
追加	ホットキーを追加します。
削除	ホットキーを選択した状態で押すとそのホットキーを削除します。
全削除	現在のモードの全てのホットキーを削除します。
複製	現在のモードの全てのホットキーをもう一つのモードにコピーします。 その後編集することでモードごとに微妙に異なるホットキーを簡単に割当てられます。 ※コピー先のモードのホットキーは全て削除されるので注意してください。 ※現在のモードにホットキーが一つもない時は複製は押せません。 ※モード2が使用可能になっていないと複製は押せません。
交換	モード1とモード2の全ホットキーを交換します。 ※モード2が使用可能になっていないと交換は押せません。
フィルタ	ソースキーのデバイスごとの表示/非表示を切り替えます。 全て 全てのデバイスを表示。 マウス マウスボタンのみ表示。 キーボード キーボードのみ表示。 ジェスチャ ジェスチャのみ表示 ※例えばマウスでフィルタをかけている時にソースキーがキーボードのホットキーを追加すると追加した瞬間にそのホットキーはフィルタで非表示になってしまうので注意してください。

6. コマンドボタン

実行	現在のプロファイル内容を保存し、HUT_Mainを起動してこのプロファイルを実行します。
OK	現在のプロファイル内容を保存し、HUT_Editorを終了します。 HUT_EditorをHUT_List又はHUT_Mainから起動した場合はそれらのプログラムを起動します。
Cancel	現在のプロファイル内容を保存しないで、HUT_Editorを終了します。 HUT_EditorをHUT_List又はHUT_Mainから起動した場合はそれらのプログラムを起動します。

7. ホットキー編集ウィンドウ

ホットキーを追加又は編集すると編集ウィンドウが開きます



ソースタイプ	<p>ソースキー／ジェスチャの切り替えをします。</p> <p>※カスタマイズでジェスチャを「使用する」にしないとジェスチャは選択できません。</p>																																																
ソースキー／ジェスチャ	<p>ソースタイプによりソースキー又はジェスチャのいずれかが表示されます。</p>																																																
変更ボタン	<p>これを押すと以下のソースキー割当ウィンドウが表示されます。</p> <div data-bbox="386 757 778 981" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ソースキー割当</p> <p>キー</p> <p>▼</p> <p>※ マウス左右、ホイール上下に割当て時は上のリストから選択してください。</p> <p>OK Reset Cancel</p> </div> <p>ここでソースキーに割当てたいキー又はマウスボタンを<u>直接押す</u>とそのキー／ボタンをソースキーに割当てます。</p> <p>※ マウス左右ボタン、ホイール上下、FastWheel をソースキーにしたい場合は<u>ドロップダウンリスト</u>から該当するボタン(ホイール)を<u>手動で指定</u>してください。</p> <p>OK 指定したキーをソースキーに割当ててこのウィンドウを閉じます。</p> <p>Reset ソースキーをクリアします。</p> <p>Cancel ソースキーの割当を中断します。</p>																																																
ジェスチャ選択	<p>ソースタイプでジェスチャを選んだ場合、ジェスチャの種類を一覧から選びます。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td>↑</td><td>上</td><td>→</td><td>右</td><td>↓</td><td>下</td><td>←</td><td>左</td><td>∩</td><td>上下</td><td>∪</td><td>下上</td><td>⤵</td><td>右左</td><td>⤴</td><td>左右</td> </tr> <tr> <td>↗</td><td>上右</td><td>↖</td><td>右上</td><td>↘</td><td>右下</td><td>↙</td><td>下右</td><td>↘</td><td>下左</td><td>↖</td><td>左下</td><td>↗</td><td>左上</td><td>↖</td><td>上左</td> </tr> <tr> <td>↻</td><td>右回り</td><td>↻</td><td>左回り</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> <p>(例 1)「上右」の場合・・・マウスを素早く真上に動かし次に右に動かす (右斜め上ではない)</p> <p>(例 2)「下上」の場合・・・マウスを素早く真下に動かし次に真上に鋭く切り返す (U の字ではない)</p>	↑	上	→	右	↓	下	←	左	∩	上下	∪	下上	⤵	右左	⤴	左右	↗	上右	↖	右上	↘	右下	↙	下右	↘	下左	↖	左下	↗	左上	↖	上左	↻	右回り	↻	左回り												
↑	上	→	右	↓	下	←	左	∩	上下	∪	下上	⤵	右左	⤴	左右																																		
↗	上右	↖	右上	↘	右下	↙	下右	↘	下左	↖	左下	↗	左上	↖	上左																																		
↻	右回り	↻	左回り																																														
機能選択	<p>ソースキーを押した時 (又はジェスチャを入力した時) に発動する機能を選択します。</p> <p>選択した機能によりこの下に表示される項目が変わります。</p> <p>キー出力 ソースキーを押すと目的キーを指定した出力方法で出力します。</p> <p>特殊機能 ソースキーにその他の特殊な機能を割当てます。</p> <p>使用停止 ソースキーを押しても無反応にします。Windows キーを無効にする時等に使用</p>																																																

8. 機能ごとのオプション

使用停止

オプションはありません。

※ソースタイプがジェスチャの場合は選択できません。

キー出力

キーの出力方法を選択します。



出力方法： キーをどのように出力するかを選択

目的キー： どのキーを出力するかを選択

変更ボタン： 目的キーを変更する時に押す

出力方法によってはさらにオプション設定が表示されます。

出力方法	オプション
Interval ToggleInterval	 <p>出力間隔</p> <p>出力間隔の時間を設定します。 (例)50 ミリ秒とすると 1 秒間に 20 回(50 ミリ秒/1000 ミリ秒)の連射になります。</p>
TapHold, HoldChange ,DoubleTap	 <p>目的キー① 押してすぐ離れた時出力されるキー</p> <p>目的キー② 押しっぱなし(又は2度押し)時に出力される第2のキー</p>
Free	<p>出力文字列を直接入力します。</p> <p>詳細は”Free の使い方”を参照してください。</p>

特殊機能

特殊機能の割当をします。

“分類”を選択後、“機能”を選んでください。

機能によっては更にオプションが表示されます。

詳細は”特殊機能一覧”を参照してください。



分類

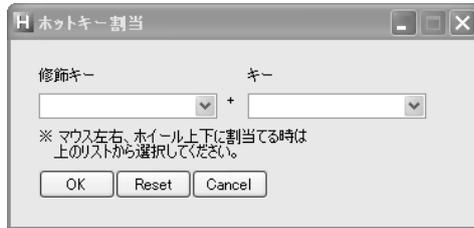
機能

オプション

9. 目的キー編集ウィンドウ

目的キー(又は目的キー①/②)の **変更** を押すと以下の編集ウィンドウが表示されます。

ここで目的キーに割当てたいキー又はマウスボタンを 直接押す とそのキー/ボタンを目的キーに割当てます。



修飾キー	<p>目的キーは「Ctrlを押しながらCを押す」といったキーの組み合わせも指定可能です。 ただし組み合わせできるのは Shift/Ctrl/Altのみです。 これらのキーを HUT では”修飾キー”と呼びます。 修飾キーは直接その組み合わせをキーボードで入力することも可能ですが、ドロップダウンから選択することも可能です。</p>
キー	<p>目的キーが表示されます。 ※ マウス左右ボタン、ホイール上下、FastWheel を目的キーにしたい場合は <u>ドロップダウンリストから</u> 該当するボタン(ホイール)を手動で指定してください。</p>
コマンドボタン	<p>OK 指定したキーを目的キーに割当ててこのウィンドウを閉じます。 Reset 目的キーをクリアします。 Cancel 目的キーの割当を中断します。</p>

10. カスタマイズタブ

このプロファイル専用の設定をします。

モード変更	
使用する	<p>チェックをつけるとモード2が利用可能になります。</p> <p>チェックを外すとモード2のホットキーは全て削除されます。</p>
変更ボタン	モード切替キー(ボタン)が表示されます。
変更	モード切替キー(ボタン)を変更します。
タイプ	<p>押している間 モード切替キーを押している間モード2になります。</p> <p>押すごと モード切替キーを押すごとにモード1と2が切り替わります。</p>
トグル継続	<p>ToggleRepeat,ToggleInterval,ToggleSpeed,ToggleMove でモード切替後のトグル状態を選択します。</p> <p>トグルをオートラン等に使っていて、モード変更後トグルがオフになると困る場合は”する”にします。</p> <p>する モード切替後もトグル状態を維持</p> <p>しない モード切替後トグルはオフになる</p>
ジェスチャ	
使用する	<p>チェックをつけるとジェスチャが利用可能になります。</p> <p>チェックを外すとソースキーがジェスチャのホットキーは全て削除されます。</p>
ジェスチャボタン	ジェスチャキー(ボタン)が表示されます。
変更	ジェスチャキー(ボタン)を変更します。
すぐ離れた時	<p>ジェスチャキー(ボタン)を<u>押してすぐ離れた時</u>の動作を決めます。</p> <p>何もしない ジェスチャキーに割り当てたキーの機能を完全に無効にします。</p> <p>キーを押す ジェスチャキーの本来のキーを出力します。</p> <p>(例)マウスの右クリックをジェスチャボタンに割り当てた場合、 押してすぐ離すと右クリックとなる。 ただしリピートやドラッグはできないので注意してください。</p>

その他	
リピート遅延	<p>キー(ボタン)を押し続けた時のキーリピートが発生するまでの遅延時間を指定します。</p> <p>特に問題がない限りデフォルトの 500 で大丈夫だと思います。</p>
Send モード	<p>これは AHK の Send コマンドのモードです。詳しくはこちらを参照してください。</p> <p>特に問題がない限りデフォルトの"Event"で大丈夫だと思います。</p>
ポインタ速度	<p>このプロファイル実行中のマウスポインタの速度を設定します。</p> <p>1 最も遅い</p> <p>↓</p> <p>20 最も早い</p> <p>(default) OS の設定をそのまま使う</p>
インターバルの最初 の入力	<p>入力タイプが"Interval"、"ToggleInterval"の時、最初に入力した瞬間にキー出力するかしないかを指定。</p> <p>間隔が数分単位以上の時でないとはほとんど違いは無いでしょう。</p> <p>含む 押した瞬間キー出力。その後は指定間隔ごとにキー出力。</p> <p>含まない 押した瞬間は何もしない。その後は指定間隔ごとにキー出力。</p>
本物の修飾キー追加	<p>キーボードの Shift、Ctrl、Alt を押しながらソースキーを押した時に、ホットキーにその組み合わせを反映するか決めます。</p> <p>ゲーム等で Shift、Ctrl、Alt を使う場合、”する”にするとホットキーの結果が変わってしまうことがあります。その場合”しない”にしてください。初期値は”しない”です。</p> <p>(例) "A"のキーに"1"を割当てた後、Shift を押しながら"A"を押すと…</p> <p>する "! " を出力 (Shift+1 を押したことになる)</p> <p>しない "1" を出力 (1 のみを押したことになる)</p>
メモ	<p>このプロファイルのメモです。</p> <p>HUT_List でプロファイルを選択するとこの内容がメモ欄に表示されます。</p> <p>256 文字まで入力可能です。</p>
Default	<p>カスタマイズ設定を初期化します。</p>

■ HUT_Main

1. 概要 …… プロファイルの実行をします。

- ・プロファイルで設定されたソースキーを押すことで各種機能が実行されます。
- ・**Shift+Ctrl+Alt+PrintScreen** を押すと実行を一時停止できます。

もう一度押すと実行を再開します。

- ・実行後タスクトレイにアイコンが表示されます。

タスクトレイアイコンにマウスポインタを重ねるとプロファイル名と現在のポインタ速度が表示されます。

このアイコンを右クリックすると以下のメニューが表示されます。

クイックセレクト	プロファイルを一覧から選んで切り替えることが出来ます。 HUT_List のプロファイルフォルダで指定されたフォルダ内のプロファイルが一覧表示されます。
リスト	HUT_List を起動します。
編集	HUT_Editor を起動して現在のプロファイルを編集します。
オプション	オプションウィンドウを開きます。
一時停止	プロファイルの実行を一時停止します。もう一度選択すると再開します。 一時停止中は全てのキーやボタンの機能が元に戻ります。 Shift+Ctrl+Alt+PrintScreen でも一時停止／再開になります。
バージョン情報	HUT のバージョンを表示します。
終了	HUT_Main を終了します。

■ キー出力

ソースキーを押した時、目的キーをどのように出力するかを設定します

Once		
概要	押した瞬間目的キーを発生。	
解説	各種コマンドの実行のように押した瞬間に <u>一度だけ</u> 動作させたい場合に便利です。	
実例	コマンドの実行等	
動作	ユーザーの操作	出力されるキー
	押した	押した→離れた
	押し続け	—
	離れた	—
Repeat		
概要	押し続ける間目的キーを発生。	
解説	押し続けている間ずっと動作させたいときに利用します。	
実例	移動や視点操作等	
動作	ユーザーの操作	出力されるキー
	押した	押した
	押し続け	押し続け
	離れた	離れた
Interval		
概要	押し続けている間一定間隔で目的キーを発生。	
解説	同じ動作を短時間で連続して行いたい場合に便利です。	
実例	連射等	
動作	ユーザーの操作	出力されるキー
	押した	押した→離れた
	押し続け	一定間隔おきに 押した→離れた
	離れた	—

ToggleRepeat		
概要	押すごとに目的キーのリピートのオン／オフ切替	
解説	一旦押すともう一度押すまで押しっぱなしになります。自動的に継続的な動作をさせたいときに便利です。	
実例	オートラン等	
動作	ユーザーの操作	出力されるキー
	押した(初回)	押した
	押し続け	押し続け
	離した	押し続け
	↓	押し続け
	押した(2回目)	離した
	押し続け	—
	離した	—
	↓	—
	押した(3回目)	押した
	押し続け	押し続け
	離した	押し続け
	↓	押し続け
	ToggleInterval	
概要	押すごと一定間隔で目的キー発生のオン／オフ切替	
解説	押すともう一度押すまで一定間隔で出力し続けます。自動的に間欠的な動作をさせたいときに便利です。	
実例	MMORPG 等の一定間隔おきの Buff やオート連射 等	
動作	ユーザーの操作	出力されるキー
	押した(初回)	押した→離した
	押し続け	一定間隔おきに 押した→離した
	離した	—
	↓	一定間隔おきに 押した→離した
	押した(2回目)	—
	押し続け	—
	離した	—
	↓	—
	押した(3回目)	押した→離した
	押し続け	一定間隔おきに 押した→離した
	離した	—
	↓	一定間隔おきに 押した→離した

TapHold		
概要	押してすぐ離すとキー 1 を一度出力。押し続けるとキー 2 をリピート。	
解説	押して離すまでの時間により 2 種類のキーを使い分けられます。 似たような 2 つの動作を一つのソースキーに割り当てると便利です。	
実例	RPG 等で、短押しでローカルマップ、長押しでワールドマップ等	
動作	すぐ離した場合	
	ユーザーの操作	出力されるキー
	一定時間以内に離した	キー 1 を押した→離した
	押し続けた場合	
	ユーザーの操作	出力されるキー
	一定時間以上押し続け 離した	キー 2 を押した→押し続け キー 2 を離した
HoldChange		
概要	押してすぐ離すとキー 1 を一度出力。押し続けるとキー 2 を一度出力。	
解説	基本は TapHold と同じ。キー 2 がリピートすると困る場合はこちらを使ってください。	
実例	RPG 等で、短押しでローカルマップ、長押しでワールドマップ等	
動作	すぐ離した場合	
	ユーザーの操作	出力されるキー
	一定時間以内に離した	キー 1 を押した→離した
	押し続けた場合	
	ユーザーの操作	出力されるキー
	一定時間以上押し続け 離した	キー 2 を押した→離した —
DoubleTap		
概要	1 回押すとキー 1 を一度出力。素早く 2 回押すとキー 2 を一度出力。	
解説	一定時間内に押す回数により 2 種類のキーを使い分けられます。 似たような 2 つの動作を一つのソースキーに割り当てると便利です。	
実例	RPG 等で、1 回押しでローカルマップ、素早く 2 回押しでワールドマップ等	
動作	1 回押した場合	
	ユーザーの操作	出力されるキー
	一定時間内に一度押した	キー 1 を押した→離した
	素早く 2 回押した場合	
	ユーザーの操作	出力されるキー
	一定時間内に二度押した	キー 2 を押した→離した

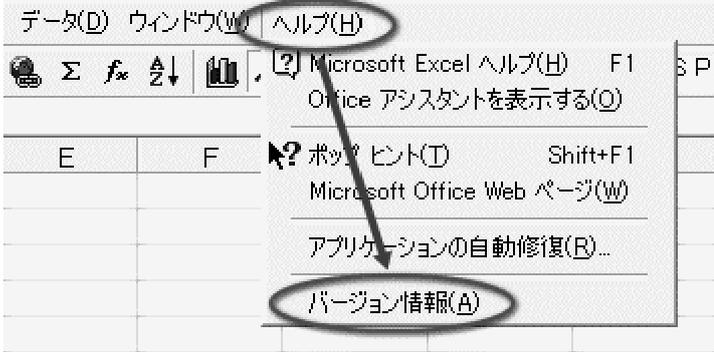
Free		
概要	押した瞬間指定した文字列を発生。	
解説	(修飾キー)+(通常キー) の組み合わせでは不可能なコマンドの実行等に便利です。	
実例	特殊なコマンドの実行等 ※詳細は「Free の使い方」を参照してください	
動作	ユーザーの操作	出力されるキー
	押した	指定した文字列を出力
	押し続け	—
	離れた	—

■ 特殊機能一覧

ブラウザ	
戻る	ブラウザの"戻る"
お気に入り	ブラウザの"お気に入り"表示
進む	ブラウザの"進む"
ホーム	ブラウザの"ホーム"
更新	ブラウザの"更新"
検索	ブラウザの"検索"
中止	ブラウザの"中止"
前のタブ	ブラウザの"前のタブ" (要タブブラウザ)
次のタブ	ブラウザの"次のタブ" (要タブブラウザ)
編集	
コピー	コピー
カット	カット
貼り付け	貼り付け
やり直し	やり直し
元に戻す	元に戻す
起動	
メール	標準のメールソフトを起動
メディアプレイヤー	メディアプレイヤーを起動
メディア	
次へ	次へ
再生	再生
前へ	前へ
停止	停止
音量	
上げる	音量を上げる
下げる	音量を下げる
消音	消音
ウィンドウ	
閉じる	アクティブなウィンドウを閉じる
最大化	アクティブなウィンドウを最大化
最小化	アクティブなウィンドウを最小化
全て最小化	全てのウィンドウを最小化
全て元のサイズに戻す	全てのウィンドウの最小化を元に戻す
元のサイズに戻す	アクティブなウィンドウのサイズを元に戻す
マウス	
ダブルクリック	左ボタンをダブルクリック
上スクロール	上にスクロール ("遅延"でスクロール速度を指定。 0=最も速い~250=最も遅い)
下スクロール	下にスクロール ("遅延"でスクロール速度を指定。 0=最も速い~250=最も遅い)

左スクロール	左にスクロール（“遅延”でスクロール速度を指定。 0=最も速い～250=最も遅い）
右スクロール	右にスクロール（“遅延”でスクロール速度を指定。 0=最も速い～250=最も遅い）
速度変更	ソースキーを押している間マウスポインタの速度変更
速度切替	ソースキーを押すごとにマウスポインタの速度切替
水平移動	ソースキーを押している間マウスポインタを水平に移動(-で左、+で右、数値が大きいほど速い)
垂直移動	ソースキーを押している間マウスポインタを垂直に移動(-で上、+で下、数値が大きいほど速い)
水平移動切替	ソースキーを押すごとにマウスポインタを水平に移動(-で左、+で右、数値が大きいほど速い)
垂直移動切替	ソースキーを押すごとにマウスポインタを垂直に移動(-で上、+で下、数値が大きいほど速い)
一定方向移動	ソースキーを押しながらにマウスポインタを上下左右斜めの8方向に動かすと その方向に移動し続ける
八方向移動	ほぼ KeepDirection と同じだが、移動中も8方向に方向転換可能
ショートカット	
デスクトップを表示	現在開いているウィンドウを全て最小化し、デスクトップを表示
コンピューターを表示	エクスプローラで「コンピュータ」を表示
システムを表示	エクスプローラで「システムの基本的な情報」を表示
検索	検索ダイアログを表示
ファイル名を指定して実行	「ファイル名を指定して実行」ダイアログを表示
ウィンドウを左に固定	※Windows7以降のみ利用可能
ウィンドウを右に固定	※Windows7以降のみ利用可能
ウィンドウを最大化	※Windows7以降のみ利用可能
ウィンドウを最小化	※Windows7以降のみ利用可能
作業中のウィンドウ以外を最小化	※Windows7以降のみ利用可能
モニター間でウィンドウを移動	※Windows7以降のみ利用可能
プレゼンテーション表示モード	※Windows7以降のみ利用可能
拡大鏡を拡大(起動)	※Windows7以降のみ利用可能
拡大鏡を縮小	※Windows7以降のみ利用可能
拡大鏡を全画面表示に	※Windows7以降のみ利用可能
拡大鏡をレンズに	※Windows7以降のみ利用可能
拡大鏡を固定に	※Windows7以降のみ利用可能
拡大鏡で色を反転	※Windows7以降のみ利用可能
拡大鏡を終了	※Windows7以降のみ利用可能
通知領域(x)起動	Windows7のスタートボタンの右に並ぶアイコンを起動 該当プログラムが既に起動中の場合はそのウィンドウを開く  ① ② ③ ④ ⑤ (例)上の画面の場合「通知領域(4)起動」にすると Excel が起動 ※Windows7以降のみ利用可能

■ Free の使い方

文字列の出力	
基本的には指定した文字列がそのまま表示されます	Abc⇒Abc
全角文字は表示不可	日本語⇒ “u??e (文字化け)
!は Alt ^は Ctrl +は Shift #は Windows という修飾記号になる	!f⇒ Alt+F “ファイル”メニューを開く ^c⇒ Ctrl+C コピー +a⇒ Shift+A 大文字の A #e⇒ Windows+E “コンピューター”の表示 +^!c⇒ Shift+Ctrl+Alt+C 修飾記号が複数の場合は続けて書く (順序は問わない)
修飾記号をそのまま表示する時には{}で囲みます	× Hello! World! ○ Hello{!} World{!}
メニューの実行	
“!”に続けて実行したいメニューの () 内の文字を指定する 【注意】対象アプリケーションがアクティブになっている必要があります。	(例)以下のようなメニューで ヘルプ(H)→バージョン情報(A) を実行したい場合は・・・ !ha となる。(“!”でメニューを開き、“h”でヘルプ(H)を選択し、“a”でバージョン情報(A)を選択)  ※上の例の“Microsoft Excel ヘルプ(H) F1 ”のようにショートカットがある場合は単純に{F1}だけでも可能です。
特殊なキーの出力	
特殊なキーはキー名を{}で囲みます	Space , Tab , Return , Esc , BS , Del , Ins , Home , End , PgUp , PgDn , Up , Down , Left , Right , ScrollLock , CapsLock , NumLock , NumpadDiv (/), NumpadMult (*), NumpadAdd (+), NumpadSub (-), NumpadEnter , NumpadDel , NumpadIns , NumpadClear , NumpadUp , NumpadDown , NumpadLeft , NumpadRight , NumpadHome , NumpadEnd , NumpadPgUp , NumpadPgDn , NumpadDot (.) Numpad0 ～ Numpad9 (テンキーの0～9) F1 ～ F24 (ファンクションキー) AppsKey , Shift , Ctrl , Alt , LWin , RWin LShift , LCtrl , LAlt , RShift , RCtrl , RAlt PrintScreen , CtrlBreak , Pause , Break , Help , Sleep

日本語キーボード		
日本語キーボードの固有キーは仮想キーコード又はスキャンコードを{}で囲む	vkF3sc029	IME オン
	vkF4sc029	IME オフ
	vk1Csc079	変換
	vk1Dsc07B	無変換
	vkF2sc070	ひらがなカタカナ
(無理やり日本語出力の例) {vkF3sc029}nihongo{vk1Csc079}{enter}{vkF4sc029}		
同じキーを複数出力		
同じキーの複数回出力は{キー名 回数}	{ WheelDown 5}	ホイールを下に 5 回転
マウス操作		
各ボタン名を{}で囲みます	LButton	左ボタン
	RButton	右ボタン
	MButton	ホイールボタン
	WheelDown	ホイール下回転
	WheelUp	ホイール上回転
	XButton1	戻るボタン
XButton2	進むボタン	
高度なマウス操作		
以下の書式でより複雑なマウス出力が可能) {click (ボタン名) (up/down) (座標) (回数) (rel) }	(ボタン名)	押すボタンを指定。 省略時は"Left"になる left(L),right(R),middle(M), x1,x2,wheelup(WU),wheeldown(WD)
	(up/down)	up(U)でボタンを押し下げ、down(D)でボタンを離す (省略時はクリック)
	(座標)	クリックする座標 (省略時は現在の座標)
	(回数)	クリックする回数 (省略時は 1、0 にするとポインタの移動のみ)
	(rel)	REL を加えると座標が現在位置からの相対座標になる
	(例)	
	{click}	現在位置で左シングルクリック
	{click 2}	現在位置で左ダブルクリック
	{click r}	現在位置で右シングルクリック
	{click 100,100,0}	座標(100,100)に移動
{click r,10,10,rel}	相対座標(10,10)に移動し右シングルクリック	
+{click r,100,100}	座標(100,100 に移動し Shift +右クリック	
(補足)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0内の省略名でも指定可能 ・ 各コマンドはどのような順番でも可能 ・ 引数の区切りはカンマ又は半角スペース ・ 数値の引数は 1 つの場合は回数、2 つは座標、3 つは座標+回数と解釈される 	

■ オプション設定

HUT_List、HUT_Editor、HUT_Main のオプションを選ぶとオプション画面が開きます。

ここでの設定は全プロファイル共通になります。

List タブ	
一覧をダブルクリックした時の処理	HUT_List でプロファイル名をダブルクリックした際の動作を選択します。 実行 そのプロファイルを実行します。 編集 そのプロファイルを編集します。
Editor タブ	
左右ボタン割当時に警告しない	HUT_Editor でソースキーにマウス左右ボタンを選択した時の警告の有無を選択します。 チェックをつけると警告を出さなくなります。
Main タブ	
Tap/Hold 遅延時間	TapHold/ HoldChange の目的キー②が発生するまでの時間(ミリ秒)を設定します。
DoubleTap 遅延時間	DoubleTap のダブルタップ(二度押し)の入力受付時間(ミリ秒)を設定します。
スクロール遅延時間	上下左右スクロール機能のリピート発生までの遅延時間(ミリ秒)を指定します。
Fast wheel しきい値	ホイールを一度に何回分回すと FastWheel と認識されるかを指定します。 値が小さすぎると少し回しただけで FastWheel になってしまいます。 値が大きすぎると相当勢いよく回さないと FastWheel になりません。
マウス自動移動のデッドゾーン	KeepDirection/ EightDirection でどれくらい大きくマウスを動かすと認識されるかを指定します。 値が小さすぎると少し動かしただけで反応してしまいます。 値が大きすぎるとかなり大きく動かさないと反応しません。
ストローク最短距離	ジェスチャの一区切りとして認識される最短距離。 値が小さすぎるとほんの少しの動作で認識されるため誤認識が増えます。 値が大きすぎるとかなり大きく動かさないと認識されなくなります。
ストローク最長距離	ジェスチャの一区切りとして認識される最長距離。
ジェスチャ受付時間	ジェスチャボタンを押した瞬間から入力完了までの制限時間をミリ秒で指定します。 値が小さすぎるとかなり素早く入力しないと認識されなくなります。 値が大きすぎると「上」等の 1 ストロークのジェスチャの認識まで間があいてしまいます。
タスクトレイアイコンクリック時	HUT_Main のタスクトレイアイコンをダブルクリックしたときの動作を指定します。 リスト HUT_List を起動します。 編集 HUT_Editor を起動します。
自動起動	オンにすると Windows が起動したときに自動的に HUT_Main が起動します。 その際 HUT_List で初期プロファイルを指定しておくとも自動でそのプロファイルをロードします。

ボタン

OK	設定を保存してオプションを閉じます。
Cancel	設定を取り消してオプションを閉じます。
Default	設定を初期化します。

■ Tips

ここではちょっとしたテクニックを解説します。

マウスボタンを素早く選択する方法

ソースキーや目的キーの選択時にマウスボタンを割当ててる時、
左右ボタン/ホイール上下は手でリストから選ばなくてははいけません、
マウス関連はリストの一番下にあるため探すのが面倒です。
そんな時はホイールボタンを押してください。
するとリストのマウス関連のところまで一気に飛びます。後は目的のボタンを探して選択してください。

FastWheel の使い道

<ユーティリティ>

- ・ ToggleRepeat 等に WheelDown/Up を割当てて自動スクロール
- ・ **Ctrl+Home** / **Ctrl+End** を割当ててページの最初/最後へ移動
- ・ **PageUp**、 **PageDown** を割当ててページ単位のスクロール

<ゲーム>

- ・ ホイールをゆっくり回して視点のズームイン/アウト。素早く回して視点のリセット
- ・ ホイールをゆっくり回して武器の選択。素早く回して手榴弾の選択

1つのキーに2つの機能を割当ててる時は HoldChange か DoubleTap のほうが無難

TapHold はキーを押しっぱなしにした場合、
目的キー2がリピートされるためおかしな結果になることが多くなります。
ほとんどのケースでは HoldChange か DoubleTap がいいと思います。

■ 注意

特殊機能の”マウス “の”上下左右スクロール”が機能しないアプリケーションがある

これは HUT というよりそのアプリケーションの問題です。

AHK は対象アプリケーションにスクロールイベント等を送信することでスクロールを実現しているのですが、これらのイベントに反応しないアプリケーションではスクロールが出来ません。

今後 AHK のバージョンアップなどによりできるようになる可能性はありますが、

今のところ解決策がありません。ご了承ください。

キーボードによっては同時入力可能なキー数の制限を受ける

Sample005 (テンキーでマウス入力) を実行していただくと分かりますが、

Enter キーを押すごとにポインタ速度の減速をオン/オフするようになっています。

本当は「押すごとに」ではなく「押している間」にしたかったのですが、

Enter を押しながらポインタを斜めに移動 (**Enter+2+3**) するような場合

テンキーの 3 つ以上のキーの同時入力の検出ができないことがわかりました。

こうしたキーの同時押し可能数はキーボードにより異なるようです。

また同じキーボードでもテンキー、メインキーなどのようにエリア (?) ごとに違う場合もあります。

回避策としては・・・

- ・ 3 番目はテンキー以外のキー又はマウスボタンに割り振る (例: 左 Windows キー)
- ・ トグル系入力を使う (ToggleSpeed 等)

バージョン 2.0 以前のプロファイルとは互換性がない

バージョン 2.0 以前をお使いの方はお手数ですが新規に作り直してください。

バージョン 2.1 のプロファイルは修正が必要な場合がある

バージョン 2.1 のプロファイルで”特殊機能”→”マウス”→”上/下/左/右スクロール”を使っているプロファイルがある場合は Ver2.11 の HUT_Editor でそのプロファイルを読み込み、スクロール速度を指定後上書きして下さい。

なおこの修正をしなくても実行はできますが、その場合スクロール速度が最速(遅延=0)になります。

プロファイルをオンメモリに保存するマウスはうまく動作しないことがある

Logicool のゲーミングマウスのようなプロファイルをオンメモリに保存するタイプはうまく動作しないことがあります。

マウス専用ユーティリティが動作しているとうまく動作しない場合がある

作者の場合は SetPoint が起動している時はマウスの戻る/進む/チルトへの割当てが機能しませんでした。

この場合 SetPoint を停止(又はアンインストール)する必要があります。

5 ボタンより多いマウスには非対応

5 ボタン(左,右,ホイール,進む,戻る)以外のボタンがあるマウスでは 5 ボタン以外にホットキーを割当てては出来ません。

ホイールのチルトは以下の制限があります

①Windows Vista 以降のみ使用可能

②特殊機能のマウスの水平/垂直移動を割り当てた際、マウスを押してすぐ離してもすぐにポインタが停止しない

③チルトに DoubleTap を割り当て、キーを押せばなしすると、まれにキー 1 ではなく 2 が発生することがあります。

このためチルトに DoubleTap を割り当てた際はなるべく押してすぐに離すようにしてください。

※①、②の制限は Windows ではチルトを「離れた」状態を識別できないため起こります。

よって今後 OS レベルでチルトの扱いが変わらない限り対処法はないと思います。

バージョン 1.x にあった Sandio の 3D マウスへの対応機能は削除

これに関してはほとんど気にする人はいないでしょう ^^ ;

■ 用語解説

ここでは HUT における特殊な用語を解説します。

プロファイル	プロファイルとはキー(ボタン)への機能割当設定を保存したファイルです。 HUT ではこれを複数作成し、タスクトレイアイコン等を通じていつでも切り替えることが出来ます。
ソースキー	ホットキーを動作させるためにユーザが実際に押すキー(ボタン)のこと。
ジェスチャ	指定したキー(ボタン)を押しながらマウスを特定の方向に動かすことでホットキーを発生します。
ストローク	ジェスチャの動作の一区切りのこと 例えば”上右”というジェスチャは”上”と”右”という2ストロークから成り、 “下”というジェスチャは1ストロークから成る。 HUT は上下左右からなる1～2ストロークのジェスチャを認識できる。 例外として”右回り”、”左回り”というジェスチャもある。
目的キー	ホットキーにより実際に出力されるキー(又はマウスボタン)のこと。
ホットキー	ユーザがソースキーを押したりジェスチャを入力した事で発生される各種機能のこと。 使用停止/キー出力/特殊機能の3種類がある。
FastWheel	ホイールを勢いよく回すことで通常のホイール回転とは別のホットキーを発生させる方法 例えば FastWheelUp に ToggleRepeat で WheelUp を割当ててことで、 通常回転時は上スクロール、高速回転時はオート上スクロール等も可能になる。 詳しくはサンプルを参照してください。

■ モードのルール

これらのルールは覚えなくても自動でエラーチェックされますのでご安心ください。^^;

モード2はカスタマイズで”モード変更”を”使用する”にしない限りは使用可能にならない

またモード2を編集後、モード変更を”使用しない”にするとモード2の内容が自動で削除されるので注意してください。

モード2使用時はどちらかのモードのホットキーが空でも構わない

これにより普段（モード1）は通常のキー、モード切替時のみ別の機能を割当てるといったことが可能になる。

逆に普段（モード1）は特別な割当をしておいて、モード切替時のみ本来の機能に戻すことも可能。

ホットキーが一つもないと保存時にエラーになる。

(例) モード1に1個、モード2は0個 → OK

同じモード内で同じソースキーの割当は出来ない。

(例) モード1にソースキーとして"A"を2回以上は割当てられない。

目的キーが同じホットキーはいくらでも作れる。

(例) ソースキー"A"に"1"を Once で割当、ソースキー"B"に"1"を Repeat で割当

モード1/2それぞれに同じソースキーがあるのは構わない。

(例) モード1でソースキー"A"に"1"を割当、モード2でソースキー"A"に"2"を割当可能

ソースキーと目的キーが同じでも構わない

(例) ソースキー `Space` に ToggleInterval で `Space` を指定してオート連射

モード切替キーに割当てたキー(ボタン)はそのプロファイル実行中はそのキーの機能は一切使えなくなる

(例) マウスの `戻る` ボタンをモード切替キーにした場合は `戻る` ボタンとしては使えない。

モード切替キーとソースキーは重複できない。

(例) ソースキーに `戻る` ボタンを割当てたらモード切替キーに `戻る` ボタンは使えない。逆も同じ。

ホットキーの最大割当可能数は各モードごとに 24。

各モードのホットキー数は異なっても構いません。

■ ジェスチャのルール

これらのルールは覚えなくても自動でエラーチェックされますのでご安心ください。^^;

ジェスチャはカスタマイズでジェスチャを”使用する”にしない限りは使用可能にならない

その後”使用する”のチェックを外すとソースキーがジェスチャのホットキーが自動で削除されるので注意してください。

ジェスチャを”使用する”にしてソースキーにジェスチャをひとつも割り当てないと保存時にエラーになる。

この場合ジェスチャをひとつでも割り当てるか、「使用する」のチェックを外してください。

同じモード内で同じジェスチャの割当は出来ない。

(例) モード1にジェスチャの”上”を2回以上は割当てられない。

ジェスチャは一度に1種類しか発生しない

(例) 同じモードにジェスチャの”上”と”上右”を割当て、マウスを上右に動かした場合は”上右”のホットキーのみ作動する。

モード2利用時どちらかのモードにジェスチャを全く割り当てない場合、

ジェスチャ未割当のモード中はジェスチャキーはそのキー本来の機能を発揮する。

(例) ジェスチャキーをマウス右ボタンにし、モード1でジェスチャ未割当にしておく、

モード1の間はマウス右ボタンはいつも通り使える。そしてモード2にするとジェスチャボタンとして動作し、マウス右ボタンとしては動作しなくなる。

ジェスチャキーとしてホイールの上下回転 (FastWheel 含む) を割り当てることはできない

ホイールの回転は押しっぱなしにできないため。

ジェスチャでキー出力の TapHold、HoldChange、DoubleTap を指定することはできない

ジェスチャでこれらダブル系を押し分けることができないため。

ジェスチャでキー出力をリピートしたい時はジェスチャ発生後もジェスチャキーを押しっぱなしにする

※リピートするために同じジェスチャを繰り返す必要はありません。

※特殊機能のスクロール、ポインタ速度変更、ポインタ移動も同様です。

(例) ジェスチャキーにホイールボタンを指定し、ジェスチャ”上”に Repeat で”1”を指定した場合・・・

①ホイールボタンを押したままマウスを上動かす

②”1”が出力される

③ホイールボタンを押しっぱなしにしている間”1”が出力され続ける

④ホイールボタンを離すと”1”の出力が止まる

異なるジェスチャを発動するには一旦ジェスチャキーを離す必要がある

(例) ジェスチャの”上”、”下”、”右”、”左”それぞれに上下左右のスクロールを割り当てた場合、

スクロール方向を変えるには一旦ジェスチャキーを離してから再度ジェスチャを入力する必要がある。

■ サンプル一覧

詳しくは HUT_List で各プロファイルの”プロパティ”と”メモ”をご覧ください。

ファイル名	内容
Sample001.hut	Windows キーを無効にする
Sample002.hut	Windows キーに別の機能を割当てる
Sample003.hut	ホイールボタンだけで戻る／進むを実行
Sample004.hut	ホイール上下で左右スクロール
Sample005.hut	テンキーでマウス操作
Sample006.hut	ホイールを素早く回して自動スクロール
Sample007.hut	ホイールを素早く回して改ページ
Sample008.hut	ホイールボタンを押している間マウスを 8 方向に自動移動
Sample009.hut	左 Windows キーを押している間マウス減速
Sample010.hut	ジェスチャで上下左右スクロール
Sample011.hut	ジェスチャで拡大鏡操作
Sample012.hut	キー出力(Free)を使い Excel で値のみ貼り付け
Sample013.hut	ジェスチャで通知領域 1～8 の起動
Sample014.hut	3 ボタンしかないマウスでタブブラウザ操作

■ ファイル内容

ファイル名	内容
HUT_List.exe	プロファイル全体の管理をします。
HUT_Edit.exe	プロファイルの編集をします。
HUT_Main.exe	プロファイルを実行します。
HUT.cfg	HUT 全体の設定ファイルです。(無い場合は自動生成されます)
~.hut	プロファイルのファイルです。
~.ico	HUT_Main 用のアイコンです。
HUT_Manual.pdf	詳しいマニュアルです。(このファイル)
HUT_ReadMe.txt	簡単なマニュアルです。

■ 更新履歴

1.0	2008年9月1日
初回版	
1.1	2008年10月3日
(変更)	Sandio 以外のマウスでも動作するように変更
(変更)	キーボードの機能変更可能数を固定(8)からプロファイルごとに可変(0~24)に変更
(追加)	新しい入力方法(HoldChange)を追加
(追加)	新しい入力方法(DoubleTap)を追加
(追加)	マウスポインタの速度を一時的に変更する機能を追加(Others→Mouse→ChangeSpeed/ToggleSpeed)
(追加)	プロファイルの Config でポインタの初期速度を指定可能に
(追加)	マウスのチルトボタンに機能割当可能に(Vista 限定)
(追加)	HUT_List に選択したプロファイルのショートカットを作るボタンを追加
1.11	2009年4月6日
(変更)	AHK の最新版(ver1.0.48)で再コンパイル
(変更)	Main のチルト検出ルーチンを改訂
(追加)	ホットキーとして WheelLeft/WheelRight を割当可能に(Vista のみ)
2.0	2010年1月24日
(削除)	Sandio3Dmouse のサポート機能を削除
(追加)	モード切替機能を追加
(追加)	FastWheel 機能を追加
(追加)	Editor で項目ごとのソート機能を追加
(追加)	Editor のカスタマイズで”本物の修飾キー追加”項目を追加
(変更)	インターフェースの表記を日本語に統一
(変更)	マウス左右ボタンにも割当可能に変更
(変更)	Editor でホットキー数を 0~24 の任意の数を設定できるように変更
(変更)	Editor でメモの入力可能数を増やし、改行にも対応
(変更)	Editor でプロファイル変更後、変更しないで閉じようとする保存ダイアログ表示
(追加)	“特殊機能”の”Mouse”にポインタを移動する機能を追加 (MoveXY / ToggleMoveXY / KeepDirection / EightDirection)
(修正)	色々なバグ修正
2.1	2010年3月23日
(追加)	ジェスチャ機能を追加
(追加)	特殊機能に「ショートカット」を追加
(追加)	キー出力に「Free」を追加
(追加)	HUT_List にプロパティ表示機能追加
(変更)	特殊機能の表記を日本語に統一
(修正)	いくつかのバグ修正
2.11	2010年4月14日
(変更)	”特殊機能”の”マウス”の”上/下/左/右スクロール”でスクロール速度を設定可能に変更

■ サポート

HUT についての、要望・不具合・質問などがありましたら、メールにてご連絡ください。

連絡先
kerori@ka7.koalanet.ne.jp
ホームページ
http://www.ka7.koalanet.ne.jp/~kerori/
著作権
HUT は作者 「けろり」 が著作権を保有します。
使用条件
HUT はフリーソフトです。 個人使用、企業内での業務使用に関わらず、HUT の使用は自由です。
配布条件
ホームページへの転載は自由です。 なお、転載する場合は、アーカイブの改変を行わないでください。 書籍・雑誌への掲載、商品への添付などの商用目的の配布の場合は事前にご連絡ください。
保証
本ソフトウェアを使用した結果生じた損害については一切保証いたしません あらかじめご了承ください。